

小学校における教科担任制

寺 田 好 江

はじめに

令和2年度は、6月から新学期がはじまり、今までにない短い学校生活を送ることになりました。前年度末の休校の影響で、前年度の教育課程未履修分も含めての学習をする事にもなりました。そんな時ではありましたが、新木戸小学校では3年生以上の学年で一部教科担任制を導入することにしました。ここでは、1年間の取り組みについて振り返り、次年度につなげられるよう成果と課題について考察したいと思います。

新木戸小学校の教科担任制

令和2年度、音楽専科に加え、理科専科を配置していただいたことで、思い切って教科担任制に取り組もうと決断しました。各学年の担任・教務・教頭を含めた人数分の教科担任制について考えました。以下が令和2年度の体制になります。

【令和2年度新木戸小の教科担任制】

3年生：音楽(専科)/体育(教務)/社会科(1組担任)/理科(2組担任)/書写(教頭)

4年生：音楽(専科)/理科・書写(専科)/体育(1組担任)/総合・図工(2組担任) /
社会科(3組担任)

5年生：音楽(専科)/体育(教務)/社会科(1組担任)/家庭科(2組担任)/
理科(3組担任) / 書写(教頭)

6年生：音楽(専科)/理科・書写(専科)/体育(1組担任)/家庭科(2組担任)/
社会科(3組担任)

教科担任制の導入で

【教科担任制導入のメリット】

- * 学年の児童理解が授業を通して行えるので、生徒指導上でも効果的である。
- * 児童に関わる教師が増えることで、児童にとって相談できる先生が増える。
- * 教材研究の時間が短縮し、働き方改革の面で効果的である。
- * 高学年でも24～25時間の授業を持つことになり、空き時間にノートを見たり事務処理ができたりして、職員の退勤時刻が早くなった。
- * 同じ授業を学年のクラス分行うので、授業力向上を実感する
- * 中学校の体制に慣れ、中1ギャップの解消に役立つ。

【教科担任制導入のデメリット】

- * 他校に異動した時に、教えた経験がない教科がでてしまう可能性がでてしまう
→ 次年度の担当教科を考慮する。
- * 通知表所見等で担当教科以外の児童の様子について触れにくい
→ 学年会を機能させて、児童の様子等担任と共通理解をする時間を確保する。

1年間を通して小学校における教科担任制に取り組んできました。以上のようなメリット・デメリットがあると思われます。子供たちにも先生方にも、メリットが多く、継続していくことが大切であると思っています。デメリットにも目を向けて、職員が解決案を持ち寄り、自分たちでどうしていったら更によくなっていくか考えていくことが大切であると思っています。

また、学校評価の項目に入れた結果が以下のようになりました。

【児童の生活アンケートから】

- * 先生たちの得意なことを教えてもらえて嬉しい。
- * 授業を教えてもらっていると学年の先生の事が良くわかって話しやすい。
- * 理科の実験が楽しいし、実験するとよくわかると思った。
- * クラスが変わって、担任の先生も変わって緊張した。勉強毎に先生が変わると緊張が増えるから担任の先生に教えてほしいと思った。
- * 担任の先生だと授業が伸びると休み時間をくれるけど、先生が変わると休み時間が減ることがある。移動教室も多くて大変。

【学校評価アンケート（職員）】

Q：一部教科担任制は効果的に行われた

そう思う58%・ほぼそう思う42%・あまり思わない0%・思わない0%

- * 学年の児童一人一人の様子が今までよりよくわかって、その子に合った指導ができたと思う。
- * 空き時間があると、児童のノート等を見る時間ができて大変ありがたかった。
- * 3クラスで同じ授業をしていると、クラスの雰囲気だけでなく発問の仕方で授業が変わってくることを実感した。

【学校評価アンケート（3年生以上保護者）】

Q：一部教科担任制は効果的に行われている

そう思う32%・ほぼそう思う58%・あまり思わない8%・思わない0%

- * 一部教科担任制で、様々な先生から刺激を受けることができ、とても素敵な取り組みだと思う。
- * 色々な先生と関わることができ、授業のメリハリも生まれるのでとても良い。
- * 教科担任制について、効果的かまでは保護者側ではなかなか判断できない。
- * 3年生には少し早いのかな…と思っている。

おわりに

たくさんの先生方で児童の指導に当たることは、今までも取り組んできました。しかし、担任一人で行う学級経営では学級差が生じ、学級王国ができる事もあります。教科担任制は、不祥事防止の観点でも一役かっているように思います。風通しの良い学級経営・学年経営につながるからです。

令和3年度は一部教科担任制の2年目です。学年会を機能させ、更に効果的な指導と働き方改革につながるよう、攻めの学校経営をしていきたいと思っています。